

あつま

生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

主な記事

- ①第22回健康ふれあいマラソン大会結果
- ②イングリッシュキャンプ/あつひやくプロジェクト
- ③新町パークゴルフ場再開/カムイノミ・イチャルパ/ディスカバリーカルチャー
- ④厚真町の団体紹介/9月定例教育委員会/パタンク体験会
- ⑤図書室だより
- ⑥放課後子ども教室活動報告

第22回

健康ふれあいマラソン大会結果



10月9日(日)、第22回健康ふれあいマラソン大会が開催されました。昨年度まで中止となっていたウォーキングの部の再開もあり、当日は95人の参加がありました。厚真町スポーツセンター周辺を、中学生の部男子、一般の部男性は5km。そのほかの部は3kmのコースを一生懸命駆け抜けました。各部門1位の記録は次の通りです。(敬称略)

中学生

男子(5km) どい ゆうすけ 土居 友祐 25分58秒63
 女子(3km) なかじま かなで 中島 花奏 20分37秒99

一般

男性(5km) かわしま けい 川嶋 圭 19分03秒64
 女性(3km) かじたに 梶谷 みゆき 15分03秒85



小学生 男女とも3km

1年生	男子	<small>おおとも</small> 大友	<small>はるひと</small> 晴仁	15分59秒71
	女子	<small>すがわら</small> 菅原	<small>いちの</small> 一乃	21分56秒81
2年生	男子	<small>にしむら</small> 西村	<small>たいが</small> 大翔	16分42秒70
	女子	<small>あさい</small> 浅井	<small>あゆ</small> 碧優	20分58秒44
3年生	男子	<small>きたがわ</small> 北川	<small>はる</small> 晴	15分27秒79
	女子	<small>あさい</small> 浅井	<small>ゆあ</small> 優杏	15分07秒82
4年生	男子	<small>ほし</small> 星	<small>たお</small> 太勇	16分10秒82
	女子	<small>くましろ</small> 神代	<small>みさき</small> 心咲	23分45秒33
5年生	男子	<small>おおがき</small> 大垣	<small>なお</small> 尚生	19分41秒33
	女子	<small>なかむら</small> 中村	<small>ゆめほ</small> 夢歩	17分01秒36
6年生	男子	<small>かいぬま</small> 海沼	<small>ゆうだい</small> 悠大	14分08秒92
	女子	<small>なかじま</small> 中島	<small>かのん</small> 楓音	14分51秒36

イングリッシュキャンプ -厚真で外国を感じる- ENGLISH CAMP IN ATSUMA開催!

厚真町教育委員会では、今年度からの新規事業として「イングリッシュキャンプ in 厚真」を8月と9月に開催しました。この事業は、外国人との英語を用いたコミュニケーション活動を通し、その楽しさや難しさに触れる機会とするほか、英語を意欲的に学びきっかけづくりを目的に、町内の中学生を対象に実施されました。

イングリッシュキャンプには、両中学校から合わせて19人の生徒が参加し、町外から参加した4人のALT（外国人指導助手）とともに、入国審査や両替体験、レストランでの注文体験等、普段外国に行かなければ体験できないような活動を行いました。

「スタッフに日本語は通じない」という設定で、基本的にはすべて英語で取り組んだ2日間。はじめは緊張していた生徒もALTとのやりとりを通じて、次第に笑顔で会話を楽しむ姿が見られました。

2日目に行ったカヌー体験では、カヌーのこぎ方や進み方を生徒がALTに英語やジェスチャーで説明をする活動を行いました。体験を終えた生徒からは、「コミュニケーションをとる上で、言葉だけではなく、身振りや手振り、表情もすごく大切だということを実感できた」という声が多くありました。

活動の最後には、ALTから「英語が得意なのか不得意なのかではなく、とにかく自信をもって外国人との会話を楽しむことを忘れないでほしい」との講評があり、参加した生徒も英語の楽しさや難しさを改めて感じる時間となりました。



初日の入国審査の様子



美々川でのカヌー体験



活動後のインタビュー

先生もお母さんもお父さんも役場の人もまちの人も…まずは、みんなで語り合いませんか？

100年先の厚真を創る100の学び場プロジェクト みんなで考える「厚真町の教育」あつひやく始動!

厚真町教育委員会では、これからの厚真町の教育について、地域の皆さんと共に語り合う場として、「あつひやくー100年先の厚真を創る、100の学び場プロジェクト」を開始します。

様々な立場の方々が一堂に会し、現在の厚真町の教育活動について「どのようなことが行われているのか」改めて共有したり、これから先の厚真を創っていくためのアイデア出しや意見交換をしたりする取組です。たくさんの方のご参加をお待ちしております。

【開催スケジュール】

第1回 12月18日(日) 13:00~16:00@総合福祉センター
「教育から厚真の未来を考える」基調講演・意見交換

第2回 1月24日(火) 18:30~20:00@総合福祉センター
「100のアイデア出し」グループアイデア出し

第3回 2月21日(火) 18:30~20:00@総合福祉センター
「アイデアの整理と共有」第2回で出たアイデアを共有する

基調講演講師・各回進行：児島 永作 氏

(株)キカクラボ / (株)感じる伊賀 代表取締役社長 CEO

申込み・問合せ：教育委員会社会教育グループ

☎27-2495

※各回のみ参加でもかまいません。
右記QRコードからも申し込み可能です。



新町町民広場パークゴルフ場が4年ぶりに再開

9月22日（木）に北海道胆振東部地震から約4年ぶりに新町町民広場パークゴルフ場が利用可能となり、集まった町民の皆さんは、同パークゴルフ場の再開を喜び合いました。

厚真パークゴルフ協会副会長の幅田 三恵子さんは、「4年間、上厚真パークゴルフ場や町外で活動をして、好成績をおさめる会員もいましたが、新町町民広場パークゴルフ場の再開を心待ちにしていました。町内だけでなく町外の方にもたくさん利用していただきたいです」と話されていました。

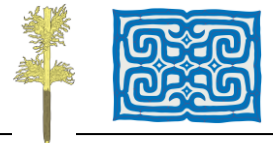
再開の始球式は、上厚真在住の阿蘇 孝司さんが行い、力強い一打に大きな拍手が送られました。

当日のパークゴルフ場の芝のコンディションは万全とは言えない状況でしたが、訪れた町民の皆さんは、久しぶりのプレーを楽しんでいました。

今年度、町内のパークゴルフ場の利用可能期間は、11月15日（火）までとなっています。貸出用のクラブとボールは、厚真町青少年センター、厚真町スポーツセンター、厚南会館の3か所にありますので、多くの町民の皆さんの利用をお待ちしています。



アイヌ民族伝統儀式 カムイノミ・イチャルパ



10月2日（日）に厚真町軽舞遺跡調査整理事務所の前庭にて、先住民族アイヌの伝統儀式であるカムイノミとイチャルパの2つの儀式が執り行われました。

カムイノミでは、アイヌ民族の「カムイ（神）たちの守りと生活の糧の恩恵があり、はじめて人々の安定した平和な生活がある」という考えのもと、平和な生活が続くことを願って神々に感謝をささげ、先祖供養の儀式であるイチャルパでは、アイヌ民族の遺骨13体ヘイナウ（御幣）と供物、祈りをささげました。

儀式の後には、リムセ（輪踊り）やク・リムセ（弓の舞）といった古式舞踊やトンコリ（アイヌ民族の伝統的な弦楽器）の演奏なども行われました。その後、約800年前のお墓から出土した副葬品などの埋蔵文化財の見学会も行われ、アイヌ文化の歴史にも触れることができました。



イチャルパでの先祖供養の様子

ディスカバリーカルチャー-Discovery culture- 新発見×交流=楽しい -11月26日（土）開催- プラネタリウム×レコード

今回は、プラネタリウム室でレコードを聞きます。昔から大きく変化した音楽の世界。「ラジカセ」「ウォークマン」「CD・MD」と言われても「???」となる方が多い時代になってきたような気がします。毎日の生活の中で、欠かすことができない音楽のこれまでの歩みや、レコードの音の魅力について学びます。

家で眠っているレコード、ご持参ください！



講師：地域おこし協力隊高校魅力化支援員
川嶋 圭 (Kei Kawashima)

問合せ・申し込み
厚真町教育委員会社会教育グループ ☎27-2495

厚真町の団体紹介 ～日本舞踊子ども教室～

日本舞踊子ども教室は、日本の伝統文化である日本舞踊に触れて学ぶことのできる教室です。日本舞踊は歌舞伎舞踊の技法を基本とした舞踊で、男女問わずだれでも習うことができます。また、着物を着たしぐさや動きが魅力の一つでもあります。

活動の一環として、地域のイベントや行事へ積極的に参加しており、11月4日（金）に総合福祉センターで行われる厚真町文化祭芸能発表会にも参加します。子どもたちも発表会へ向けて準備や練習を重ねていますので、ぜひ当日ご覧ください。

現在、小学～中学生の10人が日本舞踊を習い活動しています。興味があるお子様がいらっしゃれば、下記のとおり活動しておりますので、まずは教育委員会までご連絡ください。

- ・ 活動場所 厚真町青少年センター 2階
厚南会館
- ・ 活動日時 毎週土曜日 午前 9時～13時
午後16時～18時
- ・ 問合せ 教育委員会社会教育G
☎27-2495



9月定例教育委員会

9月29日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

◆報告事項

9月校長会議、教頭会議について／イングリッシュキャンプの開催状況について／厚南地区学校運営協議会について／厚真町教育研究所第4回運営委員会について／厚真町通学路安全推進会議／上厚真小学校・厚真中学校・厚南中学校芸術鑑賞会／英会話教室（第二期目）8月24日～12月14日毎週水曜開催／ディスクバリーカルチャー／土器の野焼き／新町パークゴルフ場の再開／厚真町文化祭の開催予定

◆議案

厚真町スポーツ施設管理規則の一部改正について

◆同意

厚真町教育委員会表彰について

◆その他

令和4年度教育委員学校訪問について／令和4年度教育委員と小中学校PTA役員保護者との懇談会について／厚真町育英資金に係る事務的事故について／町立学校における新型コロナウイルス感染症の感染状況等について

★問合せ

教育委員会学校教育グループ
☎27-2494

ペタンク体験会開催

ペタンクは、木製の目標物に向かって金属製のボールを投げ合い、相手より近づけることで、得点を競うスポーツです。南フランス発祥の球技で、高齢者から子どもまで幅広く参加できる生涯スポーツです。世界各国で愛好者も多く、気軽に楽しむことができます。また、ルールが簡単で、戦略のやり取りも魅力です。仲間同士がふれあうことで、出会いや交流の機会にもなります。

下記のとおり体験会を開催しますので、まずはペタンクを体験してみませんか！

（使用する用具は、貸し出します。）

○日 時：令和4年11月13日（日）
午前10時～12時まで

○場 所：あつまスタードーム

○参加人数：20人程度

○その他：動きやすい服装でお願いします。

【申込先】 教育委員会社会教育グループ

☎27-2495



ペタンクを体験中の厚真中学校生徒

図書室だより

3つ以上のコーナーを
体験すると参加賞を
プレゼント!



令和4年度
図書フェスの
お知らせ

開催日：11月3日(木)

時間：10時～17時

年齢不問、どなたでもご参加
いただけます

図書室すごろく

本にちなんだ問題・クイズを解こう！
問題はやさしい・ふつう・むずかしいの
3つに分かれているので、自信がある
難易度を選んで挑戦してください。
1人でも、グループでも参加できます。
場所：図書室

マーブリング 体験会

水に絵の具を浮かばせて流れる
ような模様を作るマーブリングを
行います。気に入った模様を表
紙にして、小さなノートを作ること
ができます。

場所：青少年センター入口



電子図書体験会

タブレットを操作して、電子図書や雑誌
を体験しよう。場所：絵本コーナー

プラネタリウム投影会

秋から冬にかけての星空解説や、宇
宙の不思議に関するプログラムを上
映します。場所：プラネタリウム室

フィンランド生まれのスポーツ

モルック 体験会

函館での国際大会も決まったモルック。
12本の木を倒して先に50点取ったチー
ムが勝利です。模擬試合を体験できま
す。

場所：青少年
センター外庭
(ご案内します)

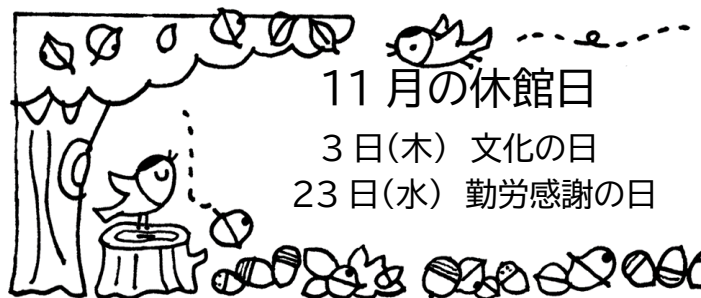


※11月3日の図書業務はお休みします

青少年センター図書室と自然災害情報室(NIED-DIL)と合同展示のお知らせ

つくば市の防災科学技術研究所内にある自然災害情報室は、災害資料を分析し、防災に活用するための
情報提供をしています。このたび、自然災害情報室から資料提供を受けて、胆振東部地震で収集した災害資
料と青少年センター図書室の発災時の写真や避難所での活
動時の掲示物、厚真スポーツセンター避難所に関する資料を
展示しますので、この機会にぜひご覧ください。

場所：青少年センター2階ロビー
期間：11月1日(火)～30日(水)



11月の休館日

3日(木) 文化の日

23日(水) 勤労感謝の日

■青少年センター図書室開館時間

午前9時から午後5時(月・水・金・土・日)

午前9時から午後7時(火・木)

■厚南会館図書室

午前9時から午後5時(月～日)

※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は
休館となります。

11月の「おはなしのびっ子」による絵本の読み聞かせは

24日(木) 10時から10時半まで 場所：厚南子育て支援センターです。

☆放課後子ども教室活動報告☆

ぐっと下がった気温に、秋の深まりを感じます。放課後子ども教室でも、日没の時間に合わせて活動終了時刻が段階的に早くなるこの時期、季節は巡っているのだと実感する毎日です。「ただいまー!」という子どもたちの声にふり返ると、暖かそうな素材のジャンパーを着て、すでに手袋をして帰ってくる子がいる一方、季節の逆をいく半袖半ズボン姿の少年少女たちも。大人たちの心配をよそに元気いっぱい駆け回っていますが、活動を終えて帰る頃には日も落ちて、冷たい空気に包まれます。子ども教室に参加する際には、ぜひ防寒着を持参していただければ幸いです。

秋といえば様々な秋が思いつくことでしょうか。芸術の秋、食欲の秋、読書の秋。子どもたちに人気なのは、やはりスポーツの秋でしょうか。特に高学年の子どもたちは、よく「みんなでオニゴッコがしたい!」とスタッフも含めて周りに声をかけ、氷オニや助けオニなどをして遊んでいます。子ども教室9月後半～10月前半のプログラムでは、野球のボールを投げてその正確さを競うストラックアウトや、ミニバレーの試合などを行いました。高学年が投げるボールの球速が速く、低学年のころから野球を続けてきた子たちの鍛錬の成果を垣間見ることができました。最近、子どもたちの中ではマンガやアニメの影響か、バレーボール熱が高まっているようです。自由時間にも数人でパスゲームをして遊んだり、ビニールの柔らかいボールではなく、しっかりした硬さと重さのあるバレーボールでもサーブの練習をしたりしています。中学生や高校生になれば、体育の授業で習う球技ですが、バスケのようにボールを持ってはいけないので、練習を重ねないとボールの扱いが難しい競技です。それでも、やってみたい気持ち強い子どもたちがいて、加えて子ども教室のスタッフは全員、競技経験者ということもあり、自由時間はさながらバレーボールの基礎講習会のようになっています。子どもたちのリクエストに応えられることは、私たちスタッフにとってもうれしいことです。

今年はドングリも栗も豊作。子どもたちとグラウンドの周りや散歩道を歩けば、足元にたくさんの木の実が落ちています。トゲトゲのイガに苦戦しながらも、つやのある大きな栗を手にとり、目を輝かせる子どもたちです。雨風が強く吹きつけた日の翌日、木の枝から下がったツルを手繰って、男の子たちがヤマブドウをせっせと集めていました。指先を紫に染めながら、身近な自然に触れた記憶が、子どもたちの財産になることを願います。

